

# 令和5年度 少年の主張長野県大会 発表作品集



松川村から見た有明山



あがりモサワラ(松川村)



芦間川(松川村)

長野県将来世代応援県民会議  
長野県子ども・若者育成支援推進本部  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

# はじめに

「少年の主張長野県大会」は、昭和54年（1979年）の国際児童年を契機に「子どもの主張大会」として始まり、今年で45回目を迎えました。

本大会は、青少年の自主性や社会性を育み相互理解の促進を図ることを目的に、心身ともに成長期にある中学生が社会の様々な出来事や日常生活の中で感じたことなどを自分自身の言葉でまとめ、社会に向けて発表する場として始まりました。

今年度は、応募のあった500を超える作品の中から、11作品が県大会に選出されました。9月に開催された県大会は、4年ぶりに観客の前で開催され、各地区で選ばれた10名が力強く意見や提言を発表しました。

この作品集には、長野県知事賞を受賞し、「少年の主張全国大会」に出場された長野県長野盲学校中学部の井出真奈史さんの作品をはじめ12名の作品が収められています。困難を乗り越えた経験や身近な家族のこと、世界へ目を向けて思うことなど、いずれの作品も自分自身で考えて行動している様子が語られており、読み手を引き込む魅力にあふれています。これらの作品に込められた中学生の熱い思いをぜひ多くの皆様感じていただければ幸いです。

子どもたちをとりまく環境が日々変化し続ける中、本県では、子ども・若者の成長を応援する様々な立場の皆様と「長野県将来世代応援県民会議」を設置し、子どもの性被害の予防やインターネットの適正利用、信州こどもカフェの普及をはじめ、子どもたちが生まれ育った環境にとらわれず自分の未来を切り拓くことができる社会を目指して取り組んでいます。引き続き、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、作品を応募していただいた中学生の皆さん、ご指導いただきました先生方、ご協力いただいた審査委員の皆様、本大会の開催にあたりご尽力いただいた関係者・関係機関の皆様には厚く御礼を申し上げます。

令和5年（2023年）12月

長野県将来世代応援県民会議会長  
長野県子ども・若者育成支援推進本部長  
長野県知事 阿 部 守 一

# 目 次

● 県大会の様子	1
● 発表作品一覧	
〈長野県知事賞〉「自立」というかたち	
長野県長野盲学校中学部 3年 井出 真奈史	5
〈優 秀 賞〉私と向き合う	
安曇野市立三郷中学校 2年 山下 真央	6
〈優 秀 賞〉私の平和宣言	
中野市立南宮中学校 3年 出川 栞	7
〈優 良 賞〉私のおばあちゃん	
上松町立上松中学校 2年 下野 扇里	8
〈優 良 賞〉SNSでの誹謗中傷について	
白馬村立白馬中学校 3年 山崎 涼介	9
〈優 良 賞〉一つの大きな平和の輪	
佐久市立野沢中学校 3年 黛 みちる	10
〈優 良 賞〉ニュースをみるメリット	
東御市立北御牧中学校 3年 尾山 美幸	11
〈優 良 賞〉岐路に立たされたとき	
諏訪市立上諏訪中学校 3年 小岩井 唯	12
〈優 良 賞〉幸せな今があること	
飯島町立飯島中学校 3年 宮澤 響	13
〈優 良 賞〉「普通」と「多様性」	
飯田市立旭ヶ丘中学校 3年 柴田 美寿	14
〈優 良 賞〉誰もが生きやすい世界を作るために	
松川村立松川中学校 3年 川口 小優	15
● 審査委員長講評	
審査委員長（長野県中学校長会幹事長・諏訪市立上諏訪中学校長） 牛越 雅紀	16
● 全国大会作品	
【第45回「少年の主張全国大会」～わたしの主張 2023～内閣総理大臣賞受賞作品】	
私が歩む夢への道 鳥取県代表 矢曳 未来	19
● 参考資料	
・令和5年度「少年の主張長野県大会」実施要綱	20
・令和5年度「少年の主張長野県大会」募集要綱	21
・令和5年度 地区選考会入賞者一覧	23
・歴代の長野県知事賞（最優秀賞）受賞者	24
・実施経過（暦年開催地及び応募数） 昭和54年度（1979）～令和5年度（2023）	25

# 県大会の様子



発表者、審査委員（主催者含む）の皆さん



優秀賞 山下 真央さん



知事賞 井出 真奈史さん



優秀賞 出川 栞さん



主催者あいさつ  
松本 順子 長野県県民文化部参事  
(学び支援担当)



開催校あいさつ  
赤羽 勲夫 松川村立松川中学校長



講評  
牛越 雅紀 審査委員長



審査委員会の様子



アトラクション 信濃国松川響岳太鼓の演奏



表彰式



発表者の皆さん

各主張発表動画は右の二次元コードからご覧いただけます。  
(県民会議ホームページ)



# 令和5年度 少年の主張長野県大会

日 時：令和5年9月7日(木)

13：30～16：26

場 所：松川村立松川中学校

- 1 開会の挨拶 長野県 県民文化部参事 松 本 順 子
- 2 開催校あいさつ 松川村立松川中学校長 赤 羽 勲 夫
- 3 審査委員紹介  
審査委員長 長野県中学校長会 幹事長 牛 越 雅 紀  
審査委員 日本放送協会 長野放送局 局長 松 谷 豊  
長野県将来世代応援県民会議 理事 降 旗 茂 孝  
長野県PTA連合会 副会長 山 田 直 幸  
長野県教育委員会 心の支援課 主任指導主事 尾 台 弘 枝  
長野県警察本部 生活安全部 人身安全・少年課長 駒 津 一 治
- 4 主張発表（10人）
- 5 アトラクション 信濃国松川響岳太鼓
- 6 閉 会 式  
講評・審査結果発表 長野県中学校長会 幹事長 牛 越 雅 紀  
表 彰

## 令和5年度 「少年の主張長野県大会」 出場者 発表作品

(原文のまま掲載)

※400字詰め原稿用紙（A4判、縦書き）で提出された作品を横書きとしたため、漢数字の一部を算用数字に置き換えました。



## 「自立」というかたち

長野県長野盲学校中学部 3年 井出 真奈史

みなさんは、自分にとって「自立」とはどんなことか考えたことはありますか？

私は現在、地元から遠く離れた長野市にある盲学校に通っています。小学校は地元の学校に通っていましたが、高学年の頃に視力が低下しました。見えにくいので目を細めて見るとにらまれているように思われたり、見えないので活動を楽しめなかったりしました。それ以降、勉強や運動、クラブ活動が思うようにできなくなり、教室の仲間との関係もあまりよくありませんでした。今思えば、「よく見えないんだよ」と言えればよかったのかもしれませんが、当時の私は、自分のことで精一杯でした。うまく学校生活が送れない自分が情けなくて、悲しくて、嫌で、どんどん学校へ行きたくない気持ちが強くなっていきました。

そして、卒業が近づき、ただ地元の仲間から離れたいという思いで、半ば逃げるように盲学校を選びました。その時は「逃げたい」という思いでいっぱいでしたが、今思い返すと、このまま心を開けない人たちの中で、苦しい思いをして過ごしていたら、私は私でなくなってしまう。私は「私自身でありたい」と思っていたのだと思います。

盲学校では、自分を見つめなおす機会を得ることができました。そして、「このままの自分ではいけない」という思いがだんだん芽生えてきました。その思いから挑戦したことの1つが、親の送迎ではなく、電車やバスを使った1人での登下校です。最初は、人混みも嫌だし、1人で何かをすることも不安だし、本当に嫌でした。しかし、嫌な気持ちを、「このままではいけない」という思いが上回り、何とか続けてくることができている。

1人で電車やバスに乗っているといろいろなことに出会います。ある日、学校へ向かうバスを待っていると知らないおばあさんに声を掛けられました。その方は、私に、バス停の名前と時刻が表示されているスマホの画面を見せ、「このバスでいいのかしら？」と尋ねてきました。しかし、私はその画面がよく見えなかったため困ってしまいました。見えない自分の現実も突き付けられ、悲しくもなりました。ここで、かつての私なら、「画面が見えないんだから仕方がない」と自分に言い訳し、助けることをあきらめていたでしょう。しかし、「このままではいけない」と思い直し、勇気を出して声を掛けて

みることにしました。「どこへいくんですか。」すると、その方はバス停の名前を教えてくれ、私は自分のスマホで調べて確かめることができました。そして「私と同じバスで大丈夫ですよ。」と伝えることができました。その方は、バスを降りる前に、「ありがとうね。」と言ってくれました。私は、その瞬間、「勇気を出してよかった！役に立ててうれしい。」と喜びでいっぱいになりました。お礼を言われたこともうれしかったですが、自分がその場で目のことを言い訳にして逃げずに、自分の力で人の役に立てたことが一番うれしかったです。

「私、できるじゃん！」これまでは、自信のなかった私ですが、この日、「目のことを言い訳にしない」「苦手なことも逃げずに勇気を出してやってみる」と、自分自身に誓うことができました。

このことをきっかけに、私にとっての「自立」のかたちが見えてきました。私にとっての「自立」とは、「自分が今までよりも強くなったと思えること」です。それは、私自身の誓いを守って行動していくことによって実現できると感じています。

現在、私は中学3年生で自分の将来を考える大切な時期です。逃げたくなることもあると思います。ですが、小学生の時とは違い、今は自分自身の誓いがあります。それを胸に自分の苦手なことから逃げずに、目のせいにも人のせいにもせずに、自分の力で真っすぐ立ち向かっていきます。これが今の私が考える「自立」です。

### プロフィール

- 自己PR  
明るい
- 趣味・特技  
絵を描く事
- 好きな言葉  
何とかなる！
- 今、熱中していること  
フロアバレー
- 将来の夢  
鍼灸師
- 今の大人に一言！  
いつもありがとう



# 私 と 向 き 合 う

安曇野市立三郷中学校 2年 山下 真央

あなたは、自分の容姿について不満を抱いたことがありますか。あなたは、「あの人と比べて自分は劣っている。」と感じた経験がありますか。

小学校高学年の私は、「鏡を見る」という行為が大嫌いでした。ニキビや毛穴汚れだらけの顔。食べた分だけ丸くなっていく体。とかしてもきれいにならない傷んだ髪の毛。そんな自分を見るのが辛かったからです。そんな私の見た目のせいもあり、友達から馬鹿にされることも多々ありました。

「こっちに来ないで。うつっちゃうでしょ。」と、ばい菌のように扱われること。

「早く治してよ。気持ち悪い。」と、私がまるでいけないことをしたかのように暴言を吐かれることも。「私だって好きでこんな見目をしているわけじゃない」という悔しくてたまらない思いと同時に、「どうして私だけ、みんなのように可愛くなれないの」という、自分に対する怒りのような、モヤモヤしたものが、ずっと心に残っていました。

悩みを抱えて何ヶ月も経った頃。思わず私は、母の前で口に出していました。

「なんで私は、こんなに可愛くないんだろう。もっと可愛く生まれたかった。」

はっとしました。私は母になんて失礼なことを言ってしまったのだろう。後悔しても手遅れでした。母は表情を曇らせ、私に、

「ごめんね。」

とだけ言いました。少し怒っているのが見て分かりました。違う、そんなことを言いたかったんじゃない、という私の表情を読み取ったのか、母はしばらくしてから、話してくれました。

「他と比べて良いものなんてないよ。真央より可愛い人も可愛くない人もいない。だって真央もママも世界に1人しかいないんだよ。何が可愛い、何が好き、もその人次第でしょ。強いて比べるなら今と過去の自分じゃない。真央は真央として生きなさい。」その時私は改めて思い知りました。「私」は「私のもの」ということを。それまでの私は「顔がきれいじゃないと可愛くない」「友達と同じ体型じゃないといけない」「他の人が気持ち悪い、と言ったらそれは気持ち悪い」という固定観念にとらわれていま

した。でも、それは違います。他の人と異なる部分が多いからこそ、「自分らしい良さ」があります。これは、見た目に関わらずのことだと思いました。勉強や運動の得意、不得意。性格や、友達の多い、少ないなど。それは、その人らしさだから、無理に周りに合わせたり、異なろうとする必要は無いんだな、と思いました。

それから私は、母の言っていたように「私として生きる」ために、他の人と自分を比べるのはやめ、自分が思う「理想の私」に少しずつでも近づけるよう努力をしようと思えるようになりました。以前まで大嫌いだった「鏡を見る」ことにもだんだんと慣れ、中学2年生となった今では、鏡に写る自分と向き合うことも、大切な時間になりました。

そして私は、今現在にも自分と周りを比べて辛い思いをしてしまっている人が、少しでも減ることを祈っています。母の言葉にあったように、他人と自分を比べて良いものなんてありません。自分が自分を好きでいるためには、まず、自分自身と向きあって、自分の良さを見つけることが必要だと私は思います。お互いの良さを認めてくれる周りの人はもちろんですが、自分を好きでいてくれる自分も大切だと思いませんか。みんな違ってみんないい。世界中の1人1人がそのような意識をもてたら、きっと私達はなんでもできます。全ての人が自分の良さと相手の良さに目を向けて生きていく。そんな世界を、私は目指します。

## プロフィール

- 自己PR  
誰にでもあいさつができる。
- 趣味・特技  
音楽鑑賞
- 好きな言葉  
ちょっと頑張れば、なんとかなる。
- 今、熱中していること  
所属している合唱部での活動
- 将来の夢  
誰からも好かれる小学校の先生になる。
- 今の大人に一言！  
環境問題に目を向けてほしい。



# 私 の 平 和 宣 言

中野市立南宮中学校 3年 出川 栞

原爆投下・太平洋戦争終戦から、今年で78年。近年の人々の平和に対する意識はどうだろうか。というのは、原爆が投下された8月6日と9日・終戦日である8月15日が何の日かを知らない人が多いことに衝撃を受けたからだ。

街頭インタビューで「8月6日・9日・15日は何の日か知っていますか？」という質問に対し、「えー、なんだろう。山の日とかですか？」「分からないです。」

などと答える日本人の、何と多いことか。自国の出来事、そして日本は世界で唯一の被爆国だということに、知らないんで、無責任すぎる。

「過去の惨劇があったから、今は平和でいられる」。近年、このような平和に対する意識が肯定化されてきている。悪い意識ではないが、そこからさらに深く考えることがないのでは、と引っかかるころがある。

これらのことが問題視されている中、私は、今年、平和への意識が高まった経験をした。

私は今年の夏、市が主催する「中学生被爆地派遣事業」に参加させていただく予定だった。中学校の代表生徒数名が、被爆地である広島と長崎へ平和学習をしに行くのだ。私は長崎に行く予定だった。被爆地から県も地方も遠い自分達が、実際に被爆地や資料館などを訪れることは、平和について沢山学べる機会になるだろうと期待に胸を膨らませていた。

そして8月6日、広島平和式典の中継を見ていたら、平和宣言の力強さや被爆された方々への追悼の雰囲気、画面越しであるにも関わらず、涙が溢れてきた。母に、

「私、長崎平和式典の最中でも泣いちゃうかも。」と言ったら、

「いいじゃん。被爆の悲惨さや平和について学んで、沢山泣いておいで。」

と言ってくれた。長崎派遣の日が待ち遠しかった。

しかし、台風の影響で、派遣学習は中止となってしまった。とても残念で仕方がなかった。

それでも、長崎平和式典の中継を見ていて、広島平和式典と同じように、胸に刺さるものが多くあった。しかし今回は、涙を流さなかった。被爆の悲惨

さが身に染みて、「私たちが伝えていかねば」という使命感に駆られたのだ。

広島・長崎ともに、平和宣言やあいさつの中で「原爆の悲しみは風化してはならない」といった平和に対する意識の言葉があった。

被爆された方々の平均年齢は、今年で85歳を超えていて、「被爆者なき時代」が近づいている。さらに、冒頭で述べたように、日本人でさえ、原爆への意識が薄らいでいる。だからこそ、若者たちも後世に伝えていくべきだと思う。

私は今後、長崎派遣の様子などを、全校に発表する機会がある。現地へは行けなかったとしても、学んだことや伝えたことは沢山あるから、そこで一人でも多くの人に平和意識を広げたい。そこから、さらに平和について学んだり、言動を見直したりして、自分・家族・友達、そして学校や社会へと平和を広げていく人が増えていったらいいと思う。

伝えたことがまた次の人へ伝わることは、簡単ではないし微力かもしれない。でも絶やすまいと行動する人たちはいる。

過去の悲しみを、平和への願いを、忘れないで。

これが、私の平和宣言。

## プロフィール

- 自己PR  
自分に厳しく、何事にも常に高い志をもって取り組む。
- 趣味・特技  
ショッピング
- 好きな言葉  
目の前にあるのは、壁ではなく扉なんだ
- 今、熱中していること  
最後の中学校生活を充実させること。勉強・部活・生徒会など、全てを大切に過ごしています。
- 将来の夢  
尊敬される人になること。
- 今の大人に一言！  
子ども達は、あなたたちを見て、学び育っていくのですよ。



## わたしのおばあちゃん

上松町立上松中学校 2年 下野 扇里

「認知症。」この言葉を聞いて、皆さんはどのようなことを考えますか？ 偏見を持っていませんか？ そして、もし家族が認知症になってしまったら、どのようなことを思いますか？

私の祖母は、数年前から認知症です。初めの頃は、少しの物忘れでしたが、最近では私のことが分からなかったり、ご飯を食べたことを忘れてしまったりと、色々なことを忘れてしまうようになりました。そして、物忘れだけでなく、上手にご飯が食べられなかったり、自分ではズボンを履いているつもりが違うものを履いていたり、日常生活を普通に送っていても、なにかどこかでトラブルが起きてしまいます。なので、私はいつも全てが上手くいかずイライラしてしまいます。私は、その上手くいかないことを全て祖母のせいだと思ってしまいます。それは、祖母が認知症になってから、1番に感じた私の思いです。そんな日常生活の中で母自身がつらくてもよく言う言葉があります。

「おばあちゃんも好きで認知症になったわけじゃないからしょうがないよ。」

と。そう言われた時私は、なんで母は祖母の味方につくのか不思議に思っていました。ある日私は考えました。高齢者施設で働いていた母なので、認知症の方とずっと向き合ってきて、なにか理解しているんだと考えました。そう考えた時、「私は軽い気持ちで考えすぎている」と思い、胸が苦しくなりました。私の祖母なのになんでこんなことをしてしまったのだろうと。母が言った、「好きで認知症になったわけじゃない」この言葉から色々な思いがあふれ出てきました。母が言っていることが正しいということと、この言葉の重みです。誰がどんなに気をつけていても認知症になってしまう。認知症になった人自身はなにをしても、それが正しいと思っている。そう考えた時、自分が最初にもった思いは自然と祖母を傷つけてしまっているんだと思いました。誰もがなってしまうかもしれない認知症を認知症になってしまった人本人が全て悪いと考えることや、その瞬間に感じたこと、初めにもった思いが全て正しいとはかぎらないということを考えさせられました。母がいつもプラスな気持ちで家族に声をかけられるのは当たり前ではないけれど、自分の経験から

なにかで人の役に立つことやつらくてもどんなに大変でも認知症の人を理解して向き合っていくことは母だけでなく、私でもできる。それを常に頭に入れ、これからは自分が母の手助けをしたり、たくさん人の役に立っていきたいです。そして、初めにもった思いが正しいとはかぎらない。一つの事でその人に偏見をもってはいけません。時間をかけて相手を理解する。ということが祖母を通して私が自分で気づけた思いです。それから、これから色々な人と付き合っていく上でとても大切なことを母に気づかされたと思います。認知症になるとどうしても以前と変わってしまうけれど、前も今も同じ人。認知症になっても私の祖母に変わりはない。何か違うと思ったら、それは自分が勝手に偏見をもってしまっている。そう気づかされた私は、偏見や勝手な思い込みをせず、時間をかけて何か理解していきたくて思いました。そのためにまず自分自身を変えて何事もプラスに考える。同じ話をしても何度でも優しく聞く。その人と今まで通り会話をする。など一つの事を意識し、今までと少しずつ何かを変えて生活することで、認知症に対する考えも少しずつ変わっていくと強く思いました。これらの気づけた思い、気づかされた思いを頭に入れて過ごしていきたいです。

これからの時代、認知症の方とは限らず、どんな人にも偏見がなく、誰もが幸せで前向きに付き合っていけるような世の中になっていくことを願います。

### プロフィール

- 自己PR  
負けず嫌い、明るい、何事もチャレンジして、あきらめない。
- 趣味・特技  
スポーツ観戦・体を動かすこと・空手
- 好きな言葉  
当たって砕けろ
- 今、熱中していること  
バレーボール・空手・お菓子作り
- 将来の夢  
保育士
- 今の大人に一言！  
どんな人にも平等な社会づくりをしてほしい。



## SNSでの誹謗中傷について

白馬村立白馬中学校 3年 山崎 涼介

皆さんは、「誹謗中傷」という言葉を知っていますか？私は小学4年生あたりから徐々に聞くようになりました。最近では犯罪にまで発展するほど、大きくニュースでとりあげられるようになっていきます。誹謗中傷による有名人の自殺報道も近年増加しています。私はよくSNSやそれに関するニュースを見ますが、その中には具体的な誹謗中傷の言葉が出てくることもあります。有名人への誹謗中傷の言葉を見ると、自分に向けられたものではないはずなのに、悲しくなるときがありました。それは自分の過去にトラウマがあるからだと思います。

私は、小学校のころにネットゲームでのいじめにあいました。それは、ネットの中だけではとどまらず、学校でもいじめられるようになりました。はじめは、悪口だけだったことが、だんだんとエスカレートしていき事実と異なるようなことまで言われるようになりました。そのときは、すごく心が痛くなって誰も信用できなくなったり、自分が嫌いになったりした時もありました。ですが、そのことを家族に相談すると、真剣に自分の問題に向き合ってくれて、家族の温かい言葉に、心の傷がだんだんと回復していきました。今では、いじめはありませんが、誹謗中傷の言葉を見たりすると心が痛くなるのが時々あります。

このことは、学校の中だけの出来事であり、自分にとってはまだ耐えられる範囲でした。しかし、SNSで誹謗中傷を受けている人達は、全国からたくさんの人たちから誹謗中傷の言葉を浴びせられています。それらの言葉の中には、「死ね」や「殺す」など身の危険を感じるような書き込みもあり、普段からおびえながら生活を過ごさなければいけない人もいます。もし、あの時のいじめが学校ではなく全国からのいじめだったら…と思うとうとう耐えられる気がしません。

そのような、全国からのいじめとして、大きく目立つのが有名人への誹謗中傷だと思います。世間からの印象があまり良くない有名人がSNSなどでたくさん誹謗中傷されているのをよく目にすることがあります。その人たちの中には、耐えられなくなって自殺する人もいたりして、とても心苦しい思いになります。そんな人たちがいなくなるためには、相

手のことを考えて言葉を発信しないといけないと思います。私も、いじめられたときには、一方的な思い込みや誤解による、たくさんの暴言を言われてすごく悲しい思いをしたことがあります。悲しむ人がいなくなるためには、相手の立場や気持ちを思いやる言葉を選択して発信するべきだと思います。

SNSでは様々な情報が飛び交います。自分の意見を発信したり、人のためになる情報を発信したりすることが誰でも簡単に発信できるようになっています。知りたいことをすぐに調べることができ、それに対して自分の意見を言えることができる。それがSNSの良いところだと思います。

しかし、簡単に発信できるということは、簡単に人を傷つけたり、だましたりすることもできてしまうということでもあります。言葉について深く考えずに発信してしまうと、その言葉で人を傷つけてしまい、心を病んでしまう人や自殺をしてしまう人などがでてきてしまいます。誹謗中傷の言葉はナイフと同じようなものであり、簡単に人の命を奪うことができてしまいます。

かつて、家族に救われた私のように、言葉によってできた傷は、言葉によって、治すことができると思います。だからこそ、SNSでは、言葉をナイフとして人に突きつけるのではなく、相手のことを思いやった言葉や、応援になるメッセージを多くの方が発信していくべきだと思います。簡単に発信できる言葉に責任をもって誹謗中傷がない社会になっていけばいいと思います。

### プロフィール

- 自己PR  
任されたことは最後までやり抜く。
- 趣味・特技  
バスケットボール
- 好きな言葉  
今をがんばる
- 今、熱中していること  
バスケットボール
- 将来の夢  
スポーツ関係の仕事で働く。
- 今の大人に一言！  
誰もが暮らしていける社会を作ってほしい。



# 1つの大きな平和の輪

佐久市立野沢中学校 3年 黛 みちる

戦争。なぜなくなるのでしょうか。私は、ニュースを見ていてよく思います。ウクライナの戦争が始まって約1年以上が経つ今、戦争を経験したことのない私には未知の世界ですが、ニュースなどで流れてくる動画や写真からどれだけ苦しく、辛い物なのか、ものすごく分からせてくれます。しかし、世界ではまた違う場所で戦争が始まり、今も誰かが殺され、泣いている人がいます。それでもなぜ、戦争はなくなるのでしょうか。

戦争は何十年、何百年、何千年と繰り返され、さらに何億人、何百億人、何千億人と犠牲者がいます。戦争は、たくさんの人の命を奪います。みなさん考えてみてください。もし、あなたの家族や友達など大切な人が戦争によって命を奪われたらどう思いますか。私は悲しくて仕方がありません。しかし、この悲しみを今、味わっている人がたくさんいます。

私が思うに、戦争はいじめと同様に思いやりのない人が贈る最悪なプレゼントだと思います。相手の気持ちを考えず、自分勝手にやりたいことだけやるといった、最悪な考えを持つ人が悪くない人に贈るプレゼントだと私は思っています。最悪な考えを持つ人がいなくなれば、むしろもともといなければ、戦争なんて起きていないのです。

しかし、人間誰しも1回は憎んだり、嫌いになったりすることはあります。そこでどう考えて行動するかで争いが起こるか、起こらないかが決まると思います。もし、そこで手を出してしまったら争いが起こり、あなたが最悪なプレゼントを贈る人になってしまいます。でも、相手のことを考えて行動すれば争いなどが起こることは無いと思います。しかし、今さら世界中の人が思いやりの心を持ち戦争を無くすといったことは出来ません。このため私は、今の私たちに何かできることはないか調べてみました。その中で私の心に強く残っている言葉があります。それは「繋がり」という言葉です。それは、若者何人かで戦争について話し合う番組で出てきた言葉です。どのような繋がりか私が考えるに、世界中

のたくさんの人と友達になるということだと思います。始めは一人二人の友達からそしてその友達、またその友達と世界中のいろんな人と繋がり、手を取り合うことが出来たら、少しでも戦争がなくなると思います。

さらに、今と昔の戦争の状況を世界中の人が知る必要があると思います。そのための「繋がり」でもあると思います。繋がった友達と戦争について話してみる方がいいと思います。しかし、急に戦争について聞かれても難しいと思います。なので、これから私たちはどのような考えを持つ人になっただけなのか、最悪なプレゼントを贈らないためにどうしたらいいのかなど、ちょっとしたことから話してみ、それをきっかけに、世界中の人とも戦争について話してみることで、知ってもらえることが今の私たちにできることではないかと思っています。

ちょっとしたこの行動から、少しでも戦争がなくなれば、戦争で悲しい思いをする人がいなくなると私は思います。そのために、まずは一人二人から友達になり、世界中の人と手を取り合い、いつか1つの大きな平和の輪を作って行きたいです。

## プロフィール

- 自己PR  
何が起きても、きっといいことに繋がると考えられる。
- 趣味・特技  
料理、お菓子作り
- 好きな言葉  
己の欲せざる所を、人に施すこと勿かれ。
- 今、熱中していること  
美味しいアイスクリーム屋さんを探すこと。
- 将来の夢  
自分のできることで、世の中の役に立てる人になりたいです。
- 今の大人に一言！  
いつもありがとうございます。



## ニュースをみるメリット

東御市立北御牧中学校 3年 尾山 美幸

みなさんは、ニュースをよくみますか。私は少し前まで、あまりニュースをみていませんでした。

私がよくニュースをみるようになったのは、クラス内で行っている一分間スピーチが始まった頃からです。話す内容の候補の一つにニュースというお題があります。しかし、ニュースを全然みていなかった私は、「何を話せば良いのか分からない!」と迷ってしまいました。友達はそのニュースについて自分の意見まで持っていて、私はどんどん置いてかれるような気持ちになりました。「このままで良いのか?」と思った私は、このような自分の中のルールを作りました。それは、一日にやっている色々なニュースについて自分の考えを持つというものです。それを行ってどんなメリットがあったのか三つ紹介します。

私がふとテレビをみるとこんなニュースが流れていました。それは、アップル社が、開発や販売をしているiPhoneに搭載されているSiriについてでした。この「HeySiri」と呼ぶ声に反応するSiriがHeyなしで反応するiPhoneが販売されたということでした。私は、「Heyって言わなくても良いってことはSiriだけで反応するんだ。便利だな。」と考えました。しかし、そのニュースには続きがありました。それは、そのニュースを聞いた人たちの、意見についてでした。私を同じように、「Heyって言うの恥ずかしかつたから嬉しい。今までよりもたくさん利用できるかもしれない。」という便利だと考える人の一方、「Siriだけでは、物知りや、知り合いなどといった言葉で誤作動が起きそう。」という声も挙がっていました。私は「最初は便利だと思ったけれど、そんな考え方もあったのか。そのような考え方をすると不便だとも言えるな。便利にしすぎてダメなことは、あるのだ。」と考えを改めました。つまりニュースには、事実をただ伝えるだけではなく、専門家やコメンテーター、世間の意見も聞けるというメリットがあるのです。

二つ目を紹介します。ニュースを聞いている中で、「重傷」と「重体」という二つの言葉が聞えてきました。「この二つの言葉、似ているけれど、違いがあるのかな?」と、疑問に思い、私は、この二つの言葉の違いを調べることにしました。「重

傷」とは、全治30日以上重いケガ、「重体」とは、生死に関わる状態のことを指すそうです。調べてみると、かなり意味が違うことが分かります。一見、似ている言葉も、ニュースの中では使い分けられているのだと感じました。このように、知らなかった言葉を知ることができる、つまり語彙が増えるのも、ニュースをみるメリットだと考えました。

三つ目は、自分の考えを伝える練習になるということです。日頃、ニュースをみていると、今の社会情勢が把握できます。そして、それらについて考えを持つ練習もしています。これが生きるのが、面接です。面接と聞くと、私のような受験生は、高校受験や大学受験などの学校へ入るための面接を思い浮かべる人が多いと思います。面接の中で、よくされる質問は、最近みた気になるニュースについて、自分の考えを言うというものらしいです。事前に練習をすれば、不安も和らぎます。

このように、ニュースをみるということには、さまざまなメリットがあるのでニュースをみるべきだと考えます。以前の私のように、ニュースをあまりみていないという方は、ぜひニュースをみてください。自分がみたニュースの話題で、いろいろな人とコミュニケーションをとれるチャンスが生まれます。そうなることで、新しい友達ができて、楽しい学校生活を送れるようになると、思います。

### プロフィール

- 自己PR  
自分から、周りを見て動くことができる。
- 趣味・特技  
ピアノを弾くこと。
- 好きな言葉  
感謝
- 今、熱中していること  
推し活
- 将来の夢  
自分にあった職に就くこと。
- 今の大人に一言!  
選挙に行って、子供の未来について考えてください。



## 岐路に立たされたとき

諏訪市立上諏訪中学校 3年 小岩井 唯

私たちの日常は、選択と決断の連続です。

その度に「どちらを選ぶのが正しいのか？」と真剣に悩むのです。

皆さんも、何かを選択して決断しなければならぬときに、自分が信じられず、悩んだり、不安になったりしたことがあるのではないのでしょうか。

では、そのような岐路に立ったとき、どちらを選ぶのが正しいのでしょうか。

私は、自分を信じて、正しいと決断した道を選択することが正解なのだと思います。そして、選んだ道を成功へと導くためには、努力を欠かさないことが大切だと考えます。

私がそう考えるのには理由があります。

それは、私が今まで「できる」と信じて選択してきた道には後悔がないからです。私は、中学校に入学して以来、自分を信じて進んできてよかったなと思える経験があります。それは、英語弁論大会と英語スピーチに挑戦したことです。どちらもやるかやらないかを選択するとき、不安な気持ちでいっぱい、決断する際には大変な勇気と覚悟がいました。しかし、自分を信じ、やってみようと決心することができました。そして、いつもそばで支えてくれる仲間や先生、家族など、多くの人の支えもあり、諦めずに前に進み続けることができました。

私は、自分を信じて挑戦することを選択したことで、やらなければ味わえない感動や貴重な体験をすることができました。そして、苦しいことから逃げずに最後までやり遂げることで、自分に自信が持てるようになりました。

このように、挑戦したことで得たものはたくさんあり、後悔はなく、自分の選択した道は間違っていなかったと言い切れます。

次に、自分を信じて選択した道を成功へと導くために大切なことである、努力を欠かさないことについてです。希望を持って努力することは素晴らしいことであり、毎日が生き生きと有意義なものになります。

アメリカ大陸を発見した歴史上の冒険家は、その

存在を信じて前に進みます。そして、それを発見したときは、今まで見たことのない光景が広がり、言葉にならないほどの感動を味わったに違いありません。

このように、私たちは岐路に立ったとき、自分を信じて前進すべきであり、その道を選択したからには、努力を惜しまないことが大切だと考えます。

全ての選択が必ずしも正解だとは限りません。でも、たとえ自分が選んだ道が間違えであり後悔したとしても、それは自分にとって必要な経験であり、失敗を糧に大きく成長できるチャンスだと考えるべきです。どんなに失敗しても、やり直すエネルギーがあれば、必ず立ち直れるはずですよ。

私は今、受験生として進路選択という大きな岐路に立たされています。どの道を選択し進むにしても、自分を信じて後悔のないように精一杯努力して、選んだ道が正解だったと思えるようにしたいです。

また、常に感謝の心を忘れずに、夢や目標の達成のために精一杯努力し、自分の信じた道を突き進んでいきたいと思っています。

### プロフィール

- 自己PR  
責任感が強く、任された仕事や自分のやるべきことを、最後まで責任をもってやり遂げる。相手の気持ちを考え、相手の立場に立って接することができる。どんな時も笑顔を忘れない。
- 趣味・特技  
歌を歌うこと。音楽を聴くこと。
- 好きな言葉  
一期一会
- 今、熱中していること  
受験勉強。合唱部で歌の練習をすること。
- 将来の夢  
小児科の医師、学校の先生。多くの子どもの将来のために力を尽くせる人になりたいです。
- 今の大人に一言！  
誰もが平等に、平和で幸せな暮らしができるような社会を実現してほしいです。



## 幸せな今があること

飯島町立飯島中学校 3年 宮澤 響

私は今、幸せです。おいしいものを食べたり、かわいいものや推しをながめたりと。あなたはどのような事に幸せを感じるでしょうか？ゲームをして勝つ事、スイーツをたくさん食べる事、スポーツをする事、めいっぱい寝る事などなど。

私達が感じている幸せにはほとんどとっていいほど、名前も知らない人が開発し、つくってくださった商品がかかってくる。ゲームだったら、ゲーム機、ゲームソフト、コントローラー、テレビなど。そんな幸せを感じさせてくれるような商品ですが、一体誰がつくっているのでしょうか？私は今までまったく考えた事がありませんでした。しかし、私はあることをきっかけに商品について考えはじめるということになりました。

私は生徒会で、音楽や文化をとりしきる学芸委員会の委員長をやらせていただいています。私はパソコンを扱うことが苦手で使ってきませんでした。しかし、委員長になったら委員会計画書を作ったり、全校のために合唱練習表を作ったり、パソコンを使った資料作成が増えてきました。私はパソコンを使ってこなかったため、資料作成にてこずってしまい、資料作成が嫌になってしまっ、ボーっとしている時間が多くなりました。そこで私はふと思ったのです。こんなに苦労して作った資料でも掲示されてしまえば他の人にはこの資料に何時間、何日という苦労がつまっていることなんて分からず、ただの掲示物にすぎないのではないか、と。そこで私は思いました。商品を作る人、キャッチコピーを考える人、その過程に至るまでにたくさん資料を作る人など。どこにやりがいを感じているのか。実際仕事についてどう思っているのかなどのたくさんの疑問がでてきました。私が商品について深く考えはじめるようになったのはこの日からです。

私は仕事のやりがい、一日の平均労働時間職場への不満を調べました。仕事のやりがいについての記事を見つけました。1番多かったのはお礼・お客様の感謝の言葉でした。他にも興味がある仕事・目標達成・仕事で社会に貢献する実感を得られた時・一つの仕事をやり遂げた時などが挙げられていました。私は苦手な資料作りを頑張って完成した時には、達成感を感じることができたので、一つの仕事をやり遂げた時というものを私はやりがいとして、資料作成をしているんだと感じることができました。次に1日の平均労働時間についてです。基本的には労働時間は原則、1日に8時間、1週間に40時間をこえてはいけいとされています。働き方改革により時間外労働の上限規制が導入されるなど、前

より働きやすい世の中になっているのではないのでしょうか？しかし、私がもう一つ気になっていること。それは仕事に対する不満についてです。私の1番予想は給料や労働時間についてだと予想をたてていました。しかし、第1位は人間関係・職場の雰囲気と私の予想は外れてしまいました。学校でも人間関係・学校・クラスの雰囲気など気になりますよね。大人も同じみたいです。

私達はすぐに大人になりたい。大人の方が勉強するより働くから楽しそう。と思っていることがあると思いますし、実際にも7割以上の人が早く大人になりたいと考えているそうです。あなたは将来、どんな職業につきたいでしょうか？私はウェディングプランナーになりたいです。お花屋さんや電気製品を売る人など。私達はその職業のいい面だけ見て悪い面をあまり見ようとしません。もう一度職業について調べ直したり、身近な大人に聞いてみたりといろいろな幅の職業を知ることが、これからの時代を担っていく私達に必要なことではないでしょうか？一つの商品にも、電気が流れていること・水道から水がでていくことはあたり前ではないし、その幸せ一つに何人、何千人もの人の苦労、努力があるということをおぼえてはいけなと思ひます。私達の感じることをできる幸せは表にたっている人だけではなく裏で支えてくれている人がいるということを感じていきたいと思ひます。次は私達の番です。よりよい世界をつくることは今の幸せを知ることからだと思ひます。今ある幸せはあたり前ではないこと。一つ一つに感謝をしていきたいです。

### プロフィール

- 自己PR  
継続力があること。決めた事は必ずやりとげること。
- 趣味・特技  
ダンス
- 好きな言葉  
継続は力なり
- 今、熱中していること  
ダンス
- 将来の夢  
ウェディングプランナーになって人生で一番幸せな時間をお手伝いさせてもらうこと。
- 今の大人に一言！  
いつも私達子供の未来のために、はたらいてくださってありがとうございます。



## 「普通」と「多様性」

飯田市立旭ヶ丘中学校 3年 柴田 美寿

私は「普通」という言葉が嫌いです。嫌いになったのは私が小学校の高学年からです。私の弟は発達障害があり、人とのコミュニケーションや感情のコントロールが苦手なためにトラブルを起こしてしまう事もありました。その時、それを見かけた人が私に対して「お前の弟は普通じゃない」と言ってきました。それを言われるまで私は「普通」という言葉になんどの疑問も無かったし、日常生活でもよく「普通」という言葉を使っていたと思います。しかし、「お前の弟は普通じゃない」と言われた時、「普通の弟って何」「どうして普通じゃないといけないの」「そもそも普通って何」などと、色々な思いが込み上げてきました。そして、この世界に「普通」なんて存在しないと思いました。

人によって「普通」は違います。周りにとっての「普通」は私にとっての「普通じゃない事」かもしれないし、私にとっての「普通」は周りにとって「普通じゃない事」かもしれない。しかし、この社会は人によって解釈が違う「普通」である事が、正しい事であるという風潮があるような気がします。「普通にしなさい」「普通に生きなさい」といった言葉を耳にした事がある人は多いと思います。「普通にする」「普通に生きる」という事は、自分が誰かにとっての「普通でない」場合、その誰かの「普通」に合わせて生活するという事になります。本当の自分を殺して、誰かの「普通」に合わせて生活するのは、とても生きづらくて、苦しい事だと思います。そしてもう一つ、今この社会では、「多様性を認めよう」といった言葉が謳われています。「多様性」とは、この世界の様々な思想、宗教、人種、性別などを認め合う考え方の事です。私は、「多様性を認める社会」をつくる事はとても難しいと思います。世界には様々な人がいます。そのため、「多様性を認めない」という考え方の人もいます。ならば、「多様性を認める社会」を実現するには、そういった考え方も認めなければいけません。しかし、それだと矛盾が生じてしまいます。となると「多様性を認める社会」をつくり上げるならば、全ての人が平等で、同じ思想などを持ってないと成り立たないと思います。

私は、「多様性」と「普通」は似た物同士だと思います。どちらも、一人一人の個人の価値観であり、その押しつけにすぎません。この二つを尊重してしまうと、必ず誰かが我慢を強いられ、「本当の

自分」を殺してしまうと思います。

「多様性」と「普通」は他者との比較があることで成り立っています。しかし、私は他者と自分を比較する事はただただ苦しいだけだと思っています。私は、ある時から体調を崩し、中々学校へ行けなかった時期がありました。その時の私は「どうして私は普通に学校へいけないの？」と、「普通」にとらわれていて、毎日が苦しかったです。その時母が私に「あなたはあなたのままでいいんだよ。」と言ってくれました。その言葉で私の心は「ふっ」と軽くなったような気がしました。私は、この社会で必要なことは「多様性」を認めたり、「普通」でいることではなく、「自分は自分、あの人はあの人」と考えて、自分自身を大切にすることだと思っています。周りの人の考えを全てうけとめて、周りに合わせて行動したり、話したりするのではなく、自分の考えをしっかりと持って、堂々と自分らしくいることはとても素晴らしい事だと思っています。そして、相手の事を「認める」のではなく、「知る」という事も大切だと思っています。一人一人が色々な考えを持っているため、その全てを認めることは絶対にできません。しかし、相手がどういう考えを持ち、自分とどこが違うのかを知れば、視野が広がり、色々な発見があると思います。

「多様性を認める事」「普通である事」は視野を狭くして、生きづらい世の中を作ってしまうと思います。だからこそ私は、それらを無視して、自分らしく、そしてたくさんの人の事を知って生きていきたいです。

### プロフィール

- 自己PR  
サスペンス、ミステリー、ホラー、数学が大好きなめがね女子です！
- 趣味・特技  
読書、ドラム
- 好きな言葉  
なんとかなる
- 今、熱中していること  
怪談
- 将来の夢  
管理栄養士
- 今の大人に一言！  
常識にとらわれすぎないで！



## 誰もが生きやすい世界を作るために

松川村立松川中学校 3年 川口 小優

私は、最近日本で悲しい出来事が多く起きるようになったと感じます。なぜなら、ニュースでは事故、殺人、自殺など心苦しい情報が毎日のように報じられているからです。その中でも、芸能人に関するニュースは人々に大きな影響を与えています。芸能人に限らず多くの人を傷つけてしまうのが誹謗中傷です。それが原因で命を絶つ人も少なくありません。以前私は、周りの声によって自分の応援している人が活動できなくなってしまったという話を耳にしました。誹謗中傷は必ずしも人を死に追いつめることになるとは限りませんが、その人の生活に影響を与えるのは確かです。ではなぜ、誹謗中傷や人の心を傷つけるようなことが起きてしまうのでしょうか。

一つの理由として、世界的にSNSを使う時間が増えたことが原因だと思います。コロナ禍で外出が難しくなっていたから、色々なアプリで情報を共有し合うことや世界に向けて情報を発信するようになる人が増え、傷つく人も同じように増えているのだと思います。コロナウイルスも引き金となって、強いストレスや不安が膨らむことも多くなったのではないのでしょうか。その気持ちを解消できる一番身近な場所はインターネットです。インターネット上には簡単に悪口を書き込むことができますが、それと同時に人の命を奪うことにもつながってしまいます。SNSを利用している人は自分の意思で利用しているはずですが、誹謗中傷をするということはその人がやりたいと思ってやっていることを否定しているということです。誰も自分の好きな事ややりたい事を否定されたら良い気持ちはしないでしょう。だからこそ、自分だけではなく、相手の立場になって物事を考えることはとても大切だと思います。芸能人の方も「人間」なので、どんな言葉もその人につけていいという考えは変えていくべきです。

また、多様性が認められる社会に変化していることも誹謗中傷の増加につながっていると思います。今は誰が誰を好きになってもいいという考え方が広がってきています。それによって人々の生きやすさや自由が広がったことは多くの人々の助けになっていますが、同時に自分自身をさらけ出したことへの非

難の声が上がっているのも事実です。様々な事情や理由があって相手を否定してしまう人、自分のストレスを発散したいがために悪質な言葉をおつける人、どんな理由であっても、人の生き方を否定することは絶対にしてはいけないことです。

時代が変わっていくと人々の考え方も変わっていきます。時代の変化についていき、うまく利用できる人がいる一方で、どんどん変わっていく世界に気持ちがいまいち追いつかない人も中にはいます。価値観や物事への考え方の変動が激しい今の時代を生きていくためには、色々な人の意見を尊重し、自分自身も変わっていくことが大切です。また、悪口に頭を抱えている人を少しでも減らしていくためには、自分の気持ちや考えをしっかりと伝えること、人を傷つけてしまう前に自分の言動や行動に気をつけること、周りの人を何よりも大切にすることが私達にできる一番身近なことではないでしょうか。誹謗中傷はネットだけで起こることではありません。誰もが受ける可能性があり、反対に誰かを傷つけている立場になってしまうこともあります。たった一言でも簡単に相手を追いつめることができる言葉ですが、思いやりを持つことで誰かを救うこともできます。限りがある時間を誰かを傷つけるために使うのではなく、誰もが自分らしく、笑顔で幸せに生きていける世界を作るために使っていきますか？

### プロフィール

- 自己PR  
一つ一つのことには手を抜かずに取り組める。
- 趣味・特技  
犬と遊ぶこと
- 好きな言葉  
理想の自分になるのに「早い」も「遅い」もない。
- 今、熱中していること  
読書
- 将来の夢  
獣医師になって色々な動物を助ける。
- 今の大人に一言！  
どんな子どもも笑顔で過ごせる日常をつくってください。



## 審査委員長 牛越 雅紀

(長野県中学校長会幹事長・諏訪市立上諏訪中学校長)

長野県中学校長会の牛越雅紀と申します。本日、審査委員長を務めさせていただきました。審査委員を代表して、講評を述べさせていただきます。

本日、各地区を代表して出場された11人の皆さん、素晴らしい発表をありがとうございました。

日常生活の中でふと気づいたこと、感じたこと、社会で起きた出来事について世に訴えたいこと、あるいは体験をとおして感じていることなど、それぞれ視点や考え方はさまざまですが、個性あふれる主張を自分の言葉でまとめ、堂々と主張してくれました。いずれも県大会にふさわしい優れた内容の発表であったと思います。

上松中学校の下野扇里さんは、おばあちゃんの病気をきっかけに、自分が感じていた思い、感情について、素直に振り返っています。お母さんの言葉から、自分の振る舞いや考え方がおばあちゃんを傷つけてしまっていることに気づくなんて、なかなかできることではありません。まずは「相手を理解しよう」と自分の行動を変えたことが下野さんの優しさだと思います。人がついもってしまう「偏見」。これからの時代、誰もが偏見をもたず、幸せで前向きに付き合っていける世の中にしようという主張がしっかりと伝わってきました。

三郷中学校の山下真央さんは、自分が体験した辛く切ない気持ちを正直に伝えてくれ、大変説得力がありました。人はなぜすぐに人と比べてしまうのかという問いに真正面から向き合っている、その真摯な姿勢に圧倒されました。「私として生きる」ために、他の人と自分を比べるのはやめ、「理想の私」に少しでも近づこう努力しよう。「自分の良さと相手の良さに目を向けて生きていくそんな世界を目指します。」という力強い決意を、本当に応援したくなりました。この訴えは多くの人の心に届いたと思います。

白馬中学校の山崎涼介さんは、小学校の時に初めて聞いた「誹謗中傷」という言葉に、自分がかつて経験した「いじめ」を重ね合わせ、深く心を痛めたことを赤裸々に語りかけてくれました。「誹謗中傷の言葉はナイフと同じ。簡単に人を傷つける」という言葉。「言葉によってできた傷は言葉によって治せる」という言葉が強く胸に残りました。言葉に力がありました。そして、相手を思いやり、応援となるメッセージを発信していくことで、誹謗中傷のない社会を作っていきたいという熱い思いを、私たちに投げかけてくれました。

長野盲学校の井出真奈史さんの、「私は私自身でありたい」「苦手なことも逃げずに勇気を出してやってみる」という言葉から、井出さんは本当に強い意志をもったすごい人だと感じ、私は心から尊敬します。人は弱いもので、すぐに楽な方へと行きたくなってしまうものですが、井出さんは「このままではいけない」と勇気を出したことから、自分に自信をもつことができたのですね。「自分が今までよりも強くなったと思える」という言葉、まさに「自立」です。井出さんの生き方に大いに学びたいと思いました。心に届く素敵な主張でした。

南宮中学校の出川菜さんは、今年、被爆地「長崎」について学ぶ機会を得て、見たり聞いたり、肌で感じたりして多くのことを学び、感じ取ったのですね。8月9日が何の日かを知らない日本人が増えていることに疑問を感じ、同時に意識が薄らいでいることに危機感を覚えたことがひしひしと伝わってきました。「原爆の悲しみを風化させてはいけない」「私たちが伝えて行かねば」という強い使命感をもって力強く訴えかけてくれました。世界中の人と力を合わせて平和な世の中を築いていってください。立派な平和宣言でしたね。

野沢中学校の黛みちるさんの、「戦争はなぜなくなるのでしょうか」という問いかけはストレートに私の胸に届きました。これは世界中のどの大人も答えを出すことができていません。なぜ大人はこんなことを続けているのか？という黛さんの本質を突いた問いですね。それを解決する言葉「つながり」。世界中の人と繋がって友達になる。話してみる。理解し合い、手を取り合って平和の輪を作っていこうと強く訴えかけてくれました。1日も早く戦争が終わり、不幸な悲しい思いをする人がなくなってほしいと私も強く思いました。

北御牧中学校の尾山美幸さんは、1分間スピーチで、友達が自分の意見を堂々と述べている姿に刺激を受け、ニュースを見て自分の意見・考えをもつようにしたこと。そこで使われている言葉を調べ、自分の考えを述べる練習をしたことが語られました。身の回りの出来事、社会や世の中のことについて、興味をもち、思ったことや疑問に感じたことを調べたり考えたりすることで、自分の意見をもつという“主体的な姿勢”が素晴らしいと思いました。自分の考えをもって多くの人とのコミュニケーションを広げてほしいと思います。

上諏訪中学校の小岩井唯さんは、今までの人生の中で、選択して決断しなければならず、悩んだり不安になったりした時にいかに乗り越えてきたか、経験をもとに伝えてくれました。思い切って自分を信じて挑戦したことで、やらなければ味わえない感動や貴重な体験をすることができ、自分に自信をもてるようになったことがわかりました。「自分を信じて前進！努力を惜しまない！」「選んだ道が間違いであっても、それは自分にとって大きく成長できるチャンス」など、小岩井さんの前向きで、力強い主張が大変素晴らしかったです。

飯島中学校の宮澤響さんの、「私は今、幸せです」という冒頭の言葉に、ドキッとしました。宮澤さんが楽しく充実した毎日を送っていることがしっかり伝わりました。そこから、「仕事のやりがい」について考えを広げ、働くということ、また多くの人の努力によって世の中が成り立っていること。そして今の幸せは当たり前ではない。感謝の気持ちを大切さへと、考えを広く大きく広げていったことが素晴らしかったです。主張を聞いた私たちも幸せな気持ちになりました。

旭ヶ丘中学校の柴田美寿さんが気づいたとおり、「普通」という言葉を本当によく使いますね。深く考えて使っていなかったかもしれません。「普通であることが正しいことであるという風潮」という訴えに、思わず頷いていました。そして、最近よく聞くようになった「多様性」という言葉。それらは、他者と自分を比較することであるし、それは苦しいことだと、自らの経験を振り返って訴えてくれました。自分の考えをしっかりと、堂々と自分らしくいることはとても素晴らしいことだ！と納得することができました。

松川村立松川中学校の川口小優さんは、インターネットやSNSの普及で便利になったと同時に、誹謗中傷によって起こる悲しいニュースがあることに心を痛め、そこから考えを広げていました。「人の生き方を否定してはいけない」「人の意見を尊重し、大切にすること」を通して、誰かを傷つけるのではなく、自分らしく、笑顔で幸せに生きていける世界を作っていきませんかと強く訴えてくれました。便利な世の中だからこそ、私たちはどうあるべきか。「相手の立場になって物事を考えることの大切さ」を改めて感じ取ることができました。

さて、今日は11名の皆さんの素敵な主張を聞くことができました。物事をよく見て、聞いて、感じて。そして心動いたこと、思ったことをもとに、じっくりと考える。自分の意見・主張をもつことは本当に素晴らしいことですし、これから未来に向かって生きていく中学生の皆さんにぜひ身につけ、実践してほしいことでもあります。本大会を主催してくださった方々に改めて感謝申し上げるとともに、本日の発表が作品集として県下の中学校に届けられ、多くの中学生が読んでくれることを強く願っています。

最後になりましたが、自分の思いや考え、願いを堂々と発表してくれた発表者のみなさんにあらためて感謝したいと思います。発表者の皆さん、本日は素晴らしい発表をありがとうございました。



会場での審査の様子

## 「第45回 少年の主張全国大会 ～わたしの主張2023～」

内閣総理大臣賞受賞作品

# 私が歩む夢への道

鳥取県 米子市立東山中学校 3年 矢曳 未来

私は障がいを持っている障がい者だ。生まれつきではなく、六年前に交通事故に遭ったことで後遺症が残ってしまったのだ。事故後のショックで歩けなくなった。記憶力が低下した。集中力が続かなくなり、些細なことで疲れて怒りっぽくなった。私はその後遺症を負ったことで、できないことが増えた。生活に関する不自由、勉強に関する不自由、その他色々なことで前の自分のほうが良かったと思う。最近は怒りの気持ちより、悲しみの気持ちが増えたように思う。

私には二つ上の姉がいる。私は今、中学校三年生だから、高校進学を考えたときに真っ先に頭に浮かんだのは姉だった。姉と同じ高校に行きたいと思った。けれど、それはとても難しい選択だと知っていた。私には障がいがあり、姉とは違うからだ。障がいを負ったことで、勉強に集中して取り組むことが難しくなり、できることよりできないことが増えた私に高校進学なんてできるだろうかと考えた。今は自分の体の状態が少しずつわかってきたからこそ言えることだが、私には普通校進学は難しいのだろうと考えている。けれど、前は変わった自分を受け入れたくなかった。やれば私はできる。元のように戻れると考えていた。そう思って中学校に通ってきたが、今となってはそれも難しいということを知った。大きくなるにつれ、自分の体がわかってきたからだ。自分を知るといえるのは、辛いことなのかもしれない。私は、そのことを理解したときから、なんだか体の力が抜けて悲しくなった。私は、もしかしたら小学校から中学校に上がる時、事故に遭う前の自分に戻りたくて、姉と同じ東山中学校を選んだのかもしれない。

そんな理由で選んだ中学校だけど私は今、その選択をして良かった、幸せだと思う。なぜなら中学校に通っていると、先生たちが私を本当に大切にしてくれているということがわかるからだ。それは、私が今、何よりも欲している気持ちだ。また、中学校に通うことで、同級生と一緒に勉強することができた。勉強だけでなく、色々なことに挑戦させてもらった。委員会活動や応援団に参加することができた。そしてこの三年間を通して、私は全てが全て融通が効くわけではないということも知ることができた。

私は大人になったら、支援学校や支援学級の教師になりたい。中学校の先生達が私を大切にしてくれているように、私も教師になったら、支援学校や支援学級の子供達を大切にしたい。生まれつきの障がいがあったり、体が不自由で普通校には通えなかったりする子供達に「あなた達には居場所がある、一人ではない」ということを知ってもらいたい。そのために私は自分を見つめ、自分にできることを探していきたい。だから私は、高校は養護学校に行きたい。養護学校で自分の可能性を見つけ、自分にできること、誰かの役に立てることを探していきたい。

私は最初からこのような考えを持っていたわけではない。最近になってやっと「できない自分」を受け入れられるようになってきたのだ。小さい頃から頑固で、これだと決めれば、周りの人の言うことなんて聞かなかった。だから事故に遭って同年代の人達より、できないことが増えたということが、ものすごくコンプレックスだった。

けれど、もうそれは過去の話だ。今の私はこうなのだから仕方がない。この考えは、自分はできないと諦めたのではなく、自分を認めたのだ。私は、私なりの道を歩むことを願う。私は自分の歩幅でゆっくりゆっくり「私の夢」を叶えようと思う。目的地へ時間をかけて進んでゆくカタツムリのように。私の夢はどこまでも続いていく。

全国大会は右の二次元コードからご覧いただけます。  
(独立行政法人国立青少年教育振興機構ホームページ)



# 参考資料

## 令和5年度「少年の主張長野県大会」実施要綱

### 1 趣 旨

心身ともに大きく成長する時期にある中学生が、日ごろの生活を通じて考えていること、実践していることを意見や提言にまとめて発表することにより、青少年の自主性や社会性を涵養する。

また、その発表内容を広く紹介し、青少年の意識の啓発と青少年健全育成についての県民意識の高揚を図る。

### 2 対 象

長野県に在住している中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にある者（以下「中学生」という。）

### 3 主 催

長野県将来世代応援県民会議

長野県子ども・若者育成支援推進本部（長野県、長野県教育委員会、長野県警察本部）

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

### 4 後 援

松川村、松川村教育委員会

### 5 日 時

令和5年9月7日(木) 午後1時30分から午後4時15分まで

### 6 会 場

松川村立松川中学校（住所：北安曇郡松川村5721-634）

### 7 発表内容及び応募方法

別紙募集要項のとおり

### 8 審 査

主催者及び学識経験者で構成する審査委員会において、下記に定める基準により審査を行う。

基準事項	観 点
論 旨	① 中学生らしい新鮮な主張であったか。
	② 意見・希望などの主張がはっきりしており、実現・実践する意欲が感じられたか。
	③ 主張の内容が個人の体験にとどまることなく、一般性と社会性があったか。
	④ 論旨が一貫しており、構成がしっかりしているか。
	⑤ 内容に説得力があったか。
論 調	① 声や言葉が明瞭で聞きやすかったか。
	② 間の取り方や声の抑揚は、主張を伝えるのに適当であったか。
	③ 話しぶりに熱意と迫力があったか。
態 度	聴衆をよく見て落ち着いて話すことができたか。

### 9 表 彰

長野県知事賞1人、優秀賞2人とし、その他の者に優良賞を贈呈する。

※ 長野県知事賞受賞者を、独立行政法人国立青少年教育振興機構が主備する「第45回少年の主張全国大会」の発表候補者として推薦する。

### 10 その他

提出された作品の著作権は、当県民会議に帰属するものとする。

# 令和5年度「少年の主張長野県大会」募集要項

## 1 趣 旨

令和5年度「少年の主張長野県大会」実施要綱に則り、原稿募集に関して必要な事項を定める。

## 2 発表内容

下記のような内容で、心からの思い、考えたことや感銘を受けたことなどを、少年らしい自由でユニークに、飾り気のない言葉でまとめたもの。

- (1) 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。
- (2) 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど。
- (3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。

## 3 応募資格

令和5年度に長野県内に在住する中学生及びそれに相応する学籍にある者。  
国籍は問わないが、日本語で発表できること。

## 4 応募原稿

### (1) 応募原稿について

- ア 400字詰め原稿用紙（A4版、縦書き）4枚程度
- イ 本人直筆（手書き）とする  
ただし、障害等によりやむを得ない場合はパソコン・ワープロ可
- ウ 5分程度で発表できる内容
- エ 原稿用紙にはHBより濃い鉛筆ではっきりと記入
- オ 提出後、原稿の加筆及び修正は認めない

### (2) 原稿の書き出しについて

作文の原稿用紙への記入は、右記入例のとおりとする。

- 1行目に、発表タイトル
- 2行目に、長野県・学校名・学年
- 3行目に、発表者の氏名
- 4行目から本文

### 原稿用紙記入例

4 行 目	3 行 目	2 行 目	1 行 目
	（ 本 文 ）	長野県 長野市立松本中学校	タイ トル
		長野 太郎	三年

## 5 応募方法（各中学校）

### (1) 応募の流れ

- ア 応募者は、在籍する中学校が指定する日までに当該中学校へ原稿を提出する。
- イ 中学校長は、学校内の応募作品から学校代表作品（2点以内）を選び、次の「応募締切・提出先」のとおり提出する。提出の際は、「応募票（様式1）」に応募作品のコピーを添付すること。  
なお、原稿の原本は応募後も各中学校で保管し、県大会当日、出場者に持参させること。
- ウ 学校代表作品は、「少年の主張長野県大会」及び「少年の主張全国大会」における作品発表や、大会後に作成する作品集等において、作文、氏名、学校名、学年、顔写真の公表・掲載、YouTubeによる配信に同意する生徒の作品とし、生徒本人にその旨の了解を得た上で提出すること。

(2) 応募締切・提出先

ア 応募締切

令和5年8月22日(火)まで

イ 提出先

各中学校は、学校所在地を管轄する地域事務局長へ提出する。

学校所在地	担 当	提出先住所
佐久地域	佐久地域振興局 総務管理課 県民生活係	〒385-8533 佐久市跡部 65-1
上田地域	上田地域振興局 総務管理課 県民生活係	〒386-8555 上田市材木町 1-2-6
諏訪地域	諏訪地域振興局 総務管理課 県民生活係	〒392-8601 諏訪市上川 1-1644-10
上伊那地域	上伊那地域振興局 総務管理課 県民生活係	〒396-8666 伊那市荒井 3497
南信州地域	南信州地域振興局 総務管理課 県民生活係	〒395-0034 飯田市追手町 2-678
木曾地域	木曾地域振興局 総務管理・環境課 県民生活係	〒397-8550 木曾郡木曾町福島 2757-1
松本地域	松本地域振興局 総務管理課 県民生活係	〒390-0852 松本市大字島立 1020
北アルプス地域	北アルプス地域振興局 総務管理・環境課 県民生活係	〒398-8602 大町市大町 1058-2
長野地域	長野地域振興局 総務管理課 県民生活係	〒380-0836 長野市南長野南県町 686-1
北信地域	北信地域振興局 総務管理課 県民生活係	〒383-8515 中野市壁田 955

## 6 地区推薦（地域事務局）

- (1) 地域事務局長は、管内の応募者について書類選考等による選考を実施し、発表候補者を決定する。
- (2) 地域事務局長は、発表候補者を「発表者推薦書（様式2）」により、長野県将来世代応援県民会議事務局長へ提出する。また、実施結果を「実施結果報告書（様式3）」により報告する。
- (3) 各地域事務局の被推薦者数は1人。  
ただし、令和5年度「少年の主張長野県大会」の会場校である松川村立松川中学校（以下「開催校」という。）がある北アルプス地域事務局は、開催校からの被推薦者1人を含む2人。
- (4) 推薦期限 令和5年8月31日(木)まで

## 7 留意点

- (1) 作品は、未発表かつ自作のものに限る。
- (2) 商業的な固有名詞や、個人名の使用は極力避ける。  
ア 商業的な固有名詞（悪い例：長野県にある〇〇旅館 良い例：長野県にある旅館）  
イ 個人名や特定の個人についての言及が避けられない場合は、事前に本人から了解を得ること

## 地区選考会 入賞者一覧

(県大会発表者を除く)

地域事務局	氏名	テーマ	学校名	学年
佐久	三井 あかり	理想的な清掃のスタイル	佐久市立野沢中学校	3学年
上田	滝澤 莉子	認めてほしい	東御市立北御牧中学校	2学年
諏訪	春宮 咲月	もっと楽しく生きるには	諏訪市立上諏訪中学校	3学年
	崎山 柚子	偏見や差別の壁	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	2学年
上伊那	鈴木 月華	誹謗中傷とクチコミ	伊那市立西箕輪中学校	3学年
	有賀 梓	分からないものと繋がる	伊那市立西箕輪中学校	3学年
	影山 ルイジ 弘彬	私達に必要な「モノ」	飯島町立飯島中学校	3学年
南信州	岡崎 愛瑠	制服は必要か	根羽村立義務教育学校根羽学園	7学年
木曾	山戸 瑞木	私と妹たち	上松町立上松中学校	2学年
松本	久保田 遥	文字の美しさに比例するもの	安曇野市立三郷中学校	2学年
北アルプス	石野 葉奈	言葉の力	白馬村立白馬中学校	3学年
	丸山 結生	自分らしく	白馬村立白馬中学校	2学年
長野	増田 悠汰	電車通学を通して 変わった自分	長野県長野盲学校	3学年
	今井 李音	神様がくれた宝物	グリーン・ヒルズ中学校	3学年
北信	高橋 美羽	「あたりまえ」から分かること	飯山市立城南中学校	3学年
	関口 ひより	誰よりも幸せな私	中野市立南宮中学校	3学年

## 歴代 長野県知事賞（最優秀賞）受賞者

回	年度	氏名	テーマ	学校名	学年	全国大会 出場者	全国大会 三賞等受賞名
1	昭和 54	赤羽 清美	いま学校で考えること	豊科町立豊科中学校	2年		
2	55	村田 幸子	価値ある体験	豊科町立豊科中学校	3年		
3	56	飯島美和子	女性差別について	穂高町立穂高中学校	3年		
4	57	福沢 聡和	真の福祉とは	駒ヶ根市立赤穂中学校	3年		
5	58	宮沢紀美子	最近の少年非行について考える	三郷村立三郷中学校	3年		
6	59	高橋由利子	こんな親に期待する	伊那市立春富中学校	3年	○	
7	60	三石あゆみ	私の家庭	長野市立裾花中学校	3年		
8	61	湯澤ちあき	曲がった心	松本市立旭町中学校	3年		
9	62	樋口美奈子	私の生きかたー私の家族を通じて	宮田村立宮田中学校	2年		
10	63	南沢 創	我が生いたちの記	上田市立第三中学校	3年		
11	平成 元	田中 信行	家族のつながり	東部町立東部中学校	3年		
12	2	中島亜州香	私の家庭ー母の姿を見てー	大町市立第一中学校	3年		
13	3	丸山 美穂	私の姉と家庭	日義村立日義中学校	3年		
14	4	岩下奈穂子	たった「二人」の家族	山口村立山口中学校	3年		
15	5	松沢かおる	プルタブと私	更埴市立屋代中学校	3年	○	文部大臣賞
16	6	原 直子	汚れた靴	木祖村立木祖中学校	3年		
17	7	三原 英利	価値ある人間へ	豊科町立豊科南中学校	1年		
18	8	李 景仙	チョゴリと私	長野朝鮮初中級学校	3年		
19	9	金 由里	言葉の大切さ	長野朝鮮初中級学校	3年		
20	10	野中 美奈	日本語を教える先生になりたい	阿智村立阿智中学校	2年		
21	11	永井みぎわ	本当の美しさ	長野市立犀陵中学校	2年		
22	12	高橋 千寛	私の介護体験	豊科町立豊科北中学校	3年	○	
23	13	萩原早紀子	私の夢	小谷村立小谷中学校	3年		
24	14	柴原 理志	揺るがない想い	大町市立第一中学校	3年	○	審査委員会特別賞
25	15	湯原 武留	国際協調の時代を目指して	長野市立北部中学校	3年		
26	16	小山 詩織	夢を持つ私であるために	佐久市立東中学校	3年	○	
27	17	小山 恵子	花のように	高山村立高山中学校	3年		
28	18	溝口うらら	一步踏み出す勇氣	売木村立売木中学校	3年	○	
29	19	眞鍋 静香	素敵な笑顔	白馬村立白馬中学校	3年		
30	20	田中 麻梨	私の夢	須坂市立東中学校	3年	○	
31	21	村松 里奈	「伝える」ということ	長野市立広徳中学校	3年		
32	22	佐藤 凜	心のふるさと	売木村立売木中学校	3年		
33	23	石黒 香帆	父と私の処方箋	長野市立広徳中学校	3年		
34	24	肥田野美香	二つの出会い	長野市立広徳中学校	3年		
35	25	小澤 美稀	祖父の言葉	長野市立広徳中学校	3年		
36	26	宮澤 紀伊	遠くの隣人	長野市立西部中学校	3年	○	
37	27	佐藤 美槻	笑顔の仮面を外すと…	長野市立西部中学校	3年		
38	28	佐藤 匠馬	ネットのすき間	長野市立西部中学校	3年		
39	29	丸山 祐奈	考える私に	長野市立東部中学校	3年		
40	30	畠山 紬来	先生は三歳	長野市立東部中学校	3年	○	
41	令和 元	塩沢 歩花	「それしかないわけない」未来	高森町立高森中学校	3年		
42	2	向 彩音	被災の地で	長野市立東部中学校	3年	○	
43	3	松本 奈穂	認め「愛」の社会を	安曇野市立三郷中学校	1年		
44	4	國枝耕之介	よりよい子育てのためにできること	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	3年		
45	5	井出真奈史	「自立」というかたち	長野県長野盲学校	3年	○	

# 実施経過（暦年開催地及び応募数）昭和54年度（1979）～平成17年度（2005）

回	年度	県大会		地方大会				大会				応募人数（人）					
		会場名(中学校及びその他)		東信		南信		中		北		中学校名	親	少年	計		
		地事	中学校	中学校	地事	中学校	中学校	地事	中学校	中学校							
1	昭和54	長野市立裾花町	臼田町立	岡谷市立	岡谷市立	岡谷市立	諏訪	塩尻市立	長野市立	東信	塩尻市立	塩尻市立	東信	塩尻市立	1,355		1,355
2	55	松本市立旭宮	上田市立	組立立	組立立	組立立	下伊那	木曾	木曾	高陵	高陵	福島	下高井	南宮	(不明)		(不明)
3	56	宮田村立第	佐久市立	箕輪町立	箕輪町立	箕輪町立	上伊那	北安曇	北安曇	箕輪	箕輪	仁科台	下水内	飯山市立	211		211
4	57	上野市立第	小諸市立	諏訪市立	諏訪市立	諏訪市立	下伊那	松本	松本	諏訪南	諏訪南	清水	長野	東部	101		101
5	58	中野市立第	小諸市立	東部町立	東部町立	東部町立	諏訪	上野市立	上野市立	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	157	26	183
6	59	大町市立第	小諸市立	上野市立	上野市立	上野市立	上伊那	北安曇	北安曇	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	1,122	26	1,148
7	60	茅野市市民会館	佐久市立	浅間	浅間	浅間	下伊那	松本	松本	旭ヶ丘	旭ヶ丘	松島	北信	飯山市立	590	37	627
8	61	佐久市立	佐久市立	丸子町立	丸子町立	丸子町立	上伊那	南箕輪	南箕輪	南箕輪	南箕輪	福島	長	須坂市立	1,969	55	2,024
9	62	木曾市立	木曾市立	浅科村立	浅科村立	浅科村立	諏訪	富士見	富士見	富士見	富士見	仁科台	北信	中野市立	793	83	876
10	63	松川町立	松川町立	上田市立	上田市立	上田市立	上伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	豊科	長	坂城町立	617	70	687
11	平成元	更埴市立	更埴市立	木曾市立	木曾市立	木曾市立	上伊那	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	309	41	350
12	2	木曾市立	木曾市立	浅科村立	浅科村立	浅科村立	上伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	639	33	672
13	3	松川町立	松川町立	上田市立	上田市立	上田市立	上伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	2,844	28	2,872
14	4	佐久市立	佐久市立	浅間	浅間	浅間	下伊那	松本	松本	旭ヶ丘	旭ヶ丘	松島	北信	飯山市立	1,639	41	1,680
15	5	更埴市立	更埴市立	木曾市立	木曾市立	木曾市立	上伊那	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	4,334	29	4,363
16	6	木曾市立	木曾市立	浅科村立	浅科村立	浅科村立	諏訪	富士見	富士見	富士見	富士見	仁科台	北信	中野市立	664	44	708
17	7	松川町立	松川町立	上田市立	上田市立	上田市立	上伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	1,390	28	1,418
18	8	上田市立	上田市立	丸子町立	丸子町立	丸子町立	諏訪	岡谷	岡谷	岡谷	岡谷	大桑	北信	豊田村立	1,656	37	1,693
19	9	山ノ内町立	山ノ内町立	丸子町立	丸子町立	丸子町立	下伊那	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	4,736	81	4,817
20	10	三郷村立	三郷村立	東	東	東	上伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	4,890	20	4,910
21	11	駒ヶ根市立	駒ヶ根市立	赤	赤	赤	諏訪	諏訪	諏訪	諏訪	諏訪	諏訪	諏訪	諏訪	3,989	55	4,044
22	12	小諸市立	小諸市立	小諸東	小諸東	小諸東	下伊那	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	6,755	17	6,772
23	13	信田村市民会館	信田村市民会館	真	真	真	上伊那	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	2,547	17	2,564
24	14	大町市立	大町市立	望月	望月	望月	諏訪	茅野	茅野	茅野	茅野	日義	北信	中野市立	2,653	24	2,677
25	15	諏訪市立	諏訪市立	上	上	上	下伊那	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	1,708	27	1,735
26	16	上田市立	上田市立	野	野	野	上伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	伊那	2,249	23	2,272
27	17	高山村立	高山村立	東	東	東	諏訪	岡谷	岡谷	岡谷	岡谷	岡谷	岡谷	岡谷	1,258	22	1,280
合	計														51,175	864	52,039

(注) 1 昭和54年度から「国際児童年」を記念して「子どもの主張大会」を開催を開始した。 4 平成18年度から「親の部」を廃止し、名称を「少年の主張大会」とした。  
 2 昭和58年度から「親の部」を新設し、名称を「少年と親の主張大会」とした。 5 昭和62年度南信地方大会の「組合立」は、上郷町飯田市学校組合立を指す。  
 3 昭和61年度から地方大会を開始した。



---

---

# 令和5年度「少年の主張長野県大会」 発表作品集

令和5年12月発行

表紙写真：松川村教育委員会提供

長野県将来世代応援県民会議／長野県子ども・若者育成支援推進本部

— お問合せ先 —

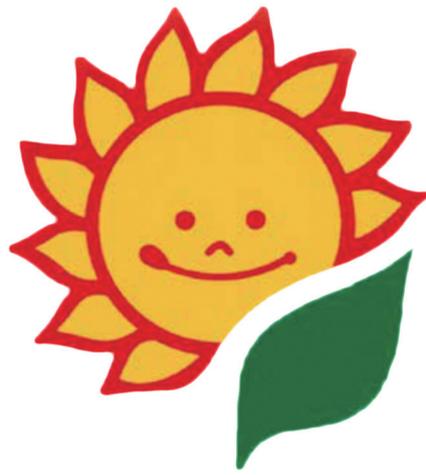
〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2  
長野県県民文化部子ども若者局次世代サポート課内

電話番号 026-235-8996 (FAX兼用)  
メールアドレス youth@axel.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://himawari-nagano.net/>

---

---





伸びよう 伸ばそう 青少年  
毎月第3日曜日は「家庭の日」

長野県将来世代応援県民会議の事業は、  
多くの賛助会員の皆様に支えられ実施しています。